

国交省、市場単価方式

3工種で試行 保溫等

国土交通省官庁営繕部
は、単位工事量当たりの

市場調査価格を積算に利

用する「市場単価方式」

について、15年度に内

装ボード張り」「絶縁電

線」「保溫(配管)」3工

種について試行する予定。

試行状況などを検討した

上で、問題がなければ16

年度に本施行へ移行する。

11年度から市場単価方

式を導入しており、15年

度から本施行となつた

「軽量鉄骨下地」「保溫(ダ

クト)」を合わせ、現在

表された15年

度の公共工事

設計労務単価

は、50職種平

均で1万83

56円。前年

度より3・9%減り、

単価を公表するようになつた平成9年以来、

6年連続で下降を続け

ている。労務単価が減

少する度に、建設業界

から「実態と違う」

意見が出されるが、國

土交通省側は「あくま

で公共工事費の積算に

用いるもので、下請け

契約での労働者への支

払賃金を拘束するもの

ではない」と振り返る。

の労働者を対象に、所

定労働時間内の8時間

の労働時間を超過する

場合に、労務単価

を算出する

とした元請け・下請け

会社の13万2823人

は、国土交通省、まし

て調査担当レベルで調

査を行なう

た。

結果に手を加えること

は、ない

といふ

こと

は、ない

こと

